

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和6年 6月 21日

尼崎市長 殿

提出者



住所 兵庫県神戸市西区玉津町出合200番地の2

氏名 大東建託（株）神戸支店 支店長 山本

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 078-927-6200

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称 大東建託株式会社 神戸支店

事業場の所在地 兵庫県神戸市西区玉津町出合200番地の2

計画期間 令和6年 4月 1日から令和7年 3月 31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	D06 総合工事業
②事業の規模	13,347百万円（前年度完工高）
③従業員数	118人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	汚泥 → 脱水・調質改良 → 改良土として再生利用又は埋立 がれき類 → 破碎 → 再生砕石として再生利用 廃プラスチック → 破碎、圧縮梱包 → 原料、燃料として再生利用 → 埋立 金属くず → 切断、破碎 → 原料として再利用 紙くず → 圧縮梱包 → 製紙原料等として再生利用 木くず → 破碎 → チップ・燃料等として再生利用 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず → 破碎 → 再利用または埋立

（日本産業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

本社	：全社的な廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、軽量化、循環利用（再使用・再生利用）、訂正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 全社的な廃棄物処理方針の策定 廃棄物処理に関する各種事項の決定 廃棄物処理計画の作成
支店（責任者）	：支店における廃棄物処理に関する検討 廃棄物の発生抑制、軽量化、循環利用（再使用・再生利用）、訂正処理の推進、計画的な廃棄物の管理運営を行う上で必要な事項を検討する。 支店における廃棄物処理方針の策定 廃棄物処理に関する各種事項の決定 廃棄物処理計画の作成
支店（担当者）	：廃棄物管理票の交付、管理 監督庁への各種報告 産廃業者に対する教育、指導

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0600 廃プラスチック類
	排出量	553.00 t	69.20 t
	（これまでに実施した取組）		
	・電子マニフェストの導入。 ・古紙のゼロエミッションの取り組み。 ・協力業者へ分別の指導・教育を実施。 ・解体現場に於ける金属くずの産廃処理量を削減する。 ・広域認定での再資源化促進。 ・端材の有効利用による処分量削減。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0600 廃プラスチック類
	排出量	257.70 t	32.30 t
	（今後実施する予定の取組）		
	・古紙のゼロエミッションの取り組み。 ・協力業者へ分別の指導・教育を実施。 ・解体現場に於ける金属くずの産廃処理量を削減する。 ・広域認定での再資源化促進。 ・端材の有効利用による処分量削減。 ・工場生産によるパネル化で現場加工を削減。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
	・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。 ・分別推進看板の現場掲示。 ・現場での作業員への直接指導。
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
	・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。 ・分別推進看板の現場掲示。 ・現場での作業員への直接指導。 ・狭小現場での分別の仕組みをつくる。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	0700 紙くず	0800 木くず
	排出量	9.20 t	259.00 t
	（これまでに実施した取組） ・電子マニフェストの導入。 ・古紙のゼロエミッションの取り組み。 ・協力業者へ分別の指導・教育を実施。 ・解体現場に於ける金属くずの産廃処理量を削減する。 ・広域認定での再資源化促進。 ・端材の有効利用による処分量削減。		
	【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	0700 紙くず	0800 木くず
	排出量	4.30 t	120.70 t
	（今後実施する予定の取組） ・古紙のゼロエミッションの取り組み。 ・協力業者へ分別の指導・教育を実施。 ・解体現場に於ける金属くずの産廃処理量を削減する。 ・広域認定での再資源化促進。 ・端材の有効利用による処分量削減。 ・工場生産によるパネル化で現場加工を削減。		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	0900 繊維くず	1200 金属くず
	排出量	9.40 t	33.00 t
	（これまでに実施した取組） ・電子マニフェストの導入。 ・古紙のゼロエミッションの取り組み。 ・協力業者へ分別の指導・教育を実施。 ・解体現場に於ける金属くずの産廃処理量を削減する。 ・広域認定での再資源化促進。 ・端材の有効利用による処分量削減。		
	【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	0900 繊維くず	1200 金属くず
	排出量	4.40 t	15.40 t
	（今後実施する予定の取組） ・古紙のゼロエミッションの取り組み。 ・協力業者へ分別の指導・教育を実施。 ・解体現場に於ける金属くずの産廃処理量を削減する。 ・広域認定での再資源化促進。 ・端材の有効利用による処分量削減。 ・工場生産によるパネル化で現場加工を削減。		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1300 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	1500 がれき類
	排出量	8711.70 t	8447.80 t
	（これまでに実施した取組） ・電子マニフェストの導入。 ・古紙のゼロエミッションの取り組み。 ・協力業者へ分別の指導・教育を実施。 ・解体現場に於ける金属くずの産廃処理量を削減する。 ・広域認定での再資源化促進。 ・端材の有効利用による処分量削減。		
	【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	1300 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	1500 がれき類
	排出量	4059.40 t	3936.40 t
	（今後実施する予定の取組） ・古紙のゼロエミッションの取り組み。 ・協力業者へ分別の指導・教育を実施。 ・解体現場に於ける金属くずの産廃処理量を削減する。 ・広域認定での再資源化促進。 ・端材の有効利用による処分量削減。 ・工場生産によるパネル化で現場加工を削減。		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	2420 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物）	2430 廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物）
	排出量	11.10 t	6.50 t
	（これまでに実施した取組） ・電子マニフェストの導入。 ・古紙のゼロエミッションの取り組み。 ・協力業者へ分別の指導・教育を実施。 ・解体現場に於ける金属くずの産廃処理量を削減する。 ・広域認定での再資源化促進。 ・端材の有効利用による処分量削減。		
	【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	2420 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物）	2430 廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物）
	排出量	5.20 t	3.00 t
	（今後実施する予定の取組） ・古紙のゼロエミッションの取り組み。 ・協力業者へ分別の指導・教育を実施。 ・解体現場に於ける金属くずの産廃処理量を削減する。 ・広域認定での再資源化促進。 ・端材の有効利用による処分量削減。 ・工場生産によるパネル化で現場加工を削減。		

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	2440 がれき類（石綿含有産業廃棄物）	2020 建設系混合廃棄物（管理型含む）（以下、含まれる産業廃棄物の種類）
	排出量	17.30 t	77.80 t
	（これまでに実施した取組） ・電子マニフェストの導入。 ・古紙のゼロエミッションの取り組み。 ・協力業者へ分別の指導・教育を実施。 ・解体現場に於ける金属くずの産廃処理量を削減する。 ・広域認定での再資源化促進。 ・端材の有効利用による処分量削減。		
	【目標】		
②計画	産業廃棄物の種類	2440 がれき類（石綿含有産業廃棄物）	2020 建設系混合廃棄物（管理型含む）（以下、含まれる産業廃棄物の種類）
	排出量	8.10 t	36.20 t
	（今後実施する予定の取組） ・古紙のゼロエミッションの取り組み。 ・協力業者へ分別の指導・教育を実施。 ・解体現場に於ける金属くずの産廃処理量を削減する。 ・広域認定での再資源化促進。 ・端材の有効利用による処分量削減。 ・工場生産によるパネル化で現場加工を削減。		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0600 廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0600 廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0600 廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0600 廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0600 廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0600 廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0600 廃プラスチック類
	全処理委託量	553.00 t	69.20 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	43.10 t
	再生利用業者への処理委託量	553.00 t	7.80 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組)		
	・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。 ・分別推進看板の現場掲示。 ・現場での作業員への直接指導。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	0700 紙くず	0800 木くず
	全処理委託量	9.20 t	259.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	9.20 t	75.50 t
	再生利用業者への処理委託量	0.00 t	131.90 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	（これまでに実施した取組）		
	・ 木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。 ・ 分別推進看板の現場掲示。 ・ 現場での作業員への直接指導。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	0900 繊維くず	1200 金属くず
	全処理委託量	9.40 t	33.00 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	3.50 t	24.90 t
	再生利用業者への 処理委託量	5.80 t	8.00 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t
	（これまでに実施した取組）		
	・ 木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。 ・ 分別推進看板の現場掲示。 ・ 現場での作業員への直接指導。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	1300 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	1500 がれき類
	全処理委託量	8711.70 t	8447.80 t
	優良認定処理業者への処理委託量	6436.10 t	7157.30 t
	再生利用業者への処理委託量	461.70 t	828.40 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組)		
	・ 木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。 ・ 分別推進看板の現場掲示。 ・ 現場での作業員への直接指導。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	2420 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物）	2430 廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物）
	全処理委託量	11.10 t	6.50 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	（これまでに実施した取組）		
	・ 木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。 ・ 分別推進看板の現場掲示。 ・ 現場での作業員への直接指導。		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 5 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	2440 がれき類（石綿含有産業廃棄物）	2020 建設系混合廃棄物（管理型含む）（以下、含まれる産業廃棄物）
	全処理委託量	17.30 t	77.80 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	(これまでに実施した取組)		
	・ 木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。 ・ 分別推進看板の現場掲示。 ・ 現場での作業員への直接指導。		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	0200 汚泥	0600 廃プラスチック類
	全処理委託量	257.70 t	32.30 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0.00 t	20.10 t
	再生利用業者への 処理委託量	257.70 t	3.60 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組) ・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。 ・分別推進看板の現場掲示。 ・現場での作業員への直接指導。 ・現場作業、現場加工の削減。		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	0700 紙くず	0800 木くず
	全処理委託量	4.30 t	120.70 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	4.30 t	35.20 t
	再生利用業者への 処理委託量	0.00 t	61.50 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組) ・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。 ・分別推進看板の現場掲示。 ・現場での作業員への直接指導。 ・現場作業、現場加工の削減。		
	※事務処理欄		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	0900 繊維くず	1200 金属くず
	全処理委託量	4.40 t	15.40 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	1.60 t	11.60 t
	再生利用業者への 処理委託量	2.70 t	3.70 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組) ・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。 ・分別推進看板の現場掲示。 ・現場での作業員への直接指導。 ・現場作業、現場加工の削減。		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	1300 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	1500 がれき類
	全処理委託量	4059.40 t	3936.40 t
	優良認定処理業者への処理委託量	2999.00 t	3335.10 t
	再生利用業者への処理委託量	215.10 t	386.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	(今後実施する予定の取組) ・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。 ・分別推進看板の現場掲示。 ・現場での作業員への直接指導。 ・現場作業、現場加工の削減。		
	※事務処理欄		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	2420 ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物）	2430 廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物）
	全処理委託量	5.20 t	3.00 t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	0.00 t
	（今後実施する予定の取組） ・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。 ・分別推進看板の現場掲示。 ・現場での作業員への直接指導。 ・現場作業、現場加工の削減。		
※事務処理欄			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	2020 建設系混合廃棄物（管理型含む） （以下、含まれる産業廃棄物の種類）	
	全処理委託量	36.20 t	0.00 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t
	再生利用業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.00 t	0.00 t
	（今後実施する予定の取組） ・木くず、紙くず、廃プラスチック、石膏ボード、金属くずの分別を各現場にて実施。 ・分別推進看板の現場掲示。 ・現場での作業員への直接指導。 ・現場作業、現場加工の削減。		
※事務処理欄			